ヨセフの物　（2/7）：　切りと欺

：

明:ヨセフの兄弟たちは彼を 切り、ヤコブは忍耐と　さをもって神と向き合います。

目: 事イスラ ムの信条　言者の物

より: ア イシャ ステイシ

日13 May 2013

集日 13 May 2013

“??”??????12?21?

ヨセフの物 では、神がすべての 事において完全かつ　的な力を持つことが　されます。ヨセフの兄弟たちによる 切りと欺 は、ヨセフにとって将来的に彼が ち取る 大な地位へのとなりました。ヨセフの物 は神の全能性、御力、主 性を正 に述べます。物 は 切りから始まり、安 、喜びによって幕を じます。ヨセフはその い旅の中で、周 の策略　切りを り越えました。それは神の御意への完全なる服 に相 しい　なのです。

自らの体 から忍耐を学んだヨセフは、 史上、最も　な人物の一人となりました。父、祖父、 祖父も 言者だった彼の家系は非の打ち所がありません。キリスト教 ユダヤ教の　においても、彼らはそれぞれヤコブ、イサク、アブラハムとして知られています。

欺 と 切り

ヤコブの年上の息子たちがヨセフを砂漠へと れだす 可を求めたとき、ヤコブの心には不安が忍び寄りました。彼はすぐに 切りの予感を感じ取り、狼がヨセフを うのではないかと疑ったのです。ヤコブはこう言いました。

“??”??????12?13?

サタンは狡猾な方法で欺き、ヤコブは不本意ながら自らの言 で彼らにヨセフ失踪の理由を与えてしまうのです。兄弟たちは、ヨセフの失踪を狼のせいにする、という卑劣な 画を 行することになりました。ヤコブは息子たちの要望に折れ、兄弟たちはヨセフを れ去り、砂漠へと向かいました。

彼らは井 へと直行し、ためらうことなくヨセフを持ち上げ、井 の底へと放り投げました。ヨセフは恐怖に泣き叫びましたが、彼らの冷酷 常な心は弟への哀れみを感じなかったのです。彼らは旅行者がヨセフを拾い上げ、奴 として り うであろうことを 信していました。ヨセフが助けを求めて叫び声を上げる中、彼らは羊の群れから小さなものを んで屠 し、その血をヨセフの衣服に付けました。嫉 心に支配された兄弟たちは、この卑劣な行いを秘密にしておくことを誓い合い、 足してその を去りました。ヨセフは井 の中で酷く怯えていましたが、神はやがて彼が兄弟たちに再び出会うことを明らかにしました。彼はこの出来事について、兄弟たちに いただす日が来ることを知らされたのです。

“???”??????12?15?

泣 は真 の 付けとはならないこと

兄弟たちは泣きながら父のもとへと りました。既に りは暗くなっており、ヤコブは心配しながら家の中でヨセフの りを待っていました。10人の泣き声が、彼の最も恐れていたことが起きてしまったことを 信させました。夜の暗 は、彼らの心の と 和していたかのようでした。彼らの口からは嘘が容易に出てきました。ヤコブの心は苦 で め付けられました。

“???”??????12?17?18?

 言者ムハンマドの に れた 　な者たちの逸 の一つに、老 人に判 を下したムスリムの裁判官の例があります。判 　、老 人は延々と泣きました。　 に基づいた判 により、彼女は 　したのです。裁判官の友人は言いました。「彼女は泣きに泣いていたし、老年だ。なぜ彼女を信じなかったのだ？」裁判官は言いました。「クルア ンには泣くことが真 の とはな

らない、と いてあることを知らないのか? ヨセフの兄弟は泣きながら父 の元へと った のだぞ? 」彼らは泣いていましたが、犯罪を犯していたのです。

ヤコブとヨセフは共に、 史上最も高 な人物に数えられます。 言者ムハンマドはヨセフ のことを、最も品位あり、 大な人物の一人として言及しています。 が最も神を畏れる 人物かと かれたとき、彼はこう答えています。「最も名誉ある人物は神の 言者であり 、 言者の子、そして神に されたしもべ（アブラハム）の子であるヨセフである[1]。」 ヨセフが恐怖の中で井 の底に居たとき、 くにいたヤコブは不安にかられていましたが 、息子たちが嘘をついているのは分かっていました。神の 言者にふさわしく、 を流し ながらも彼はこう言いました。

“???”??????12?18?

どういった行 をとれば良いのかは、ヤコブにとってのジレンマでした。彼は息子たち が嘘を付いていたのを知っていましたが、どのような をすべきだったのでしょう。も ちろん彼らを すわけにはいきません。彼は神への完全なる服 から、この出来事は彼自 身の手には えないことを悟りました。彼には神を信 し、希望と忍耐をもって神に全て を委ねるほかに 肢はなかったのです。

井 の底でヨセフは祈りました。父と息子は夜が更けても神に向き合っていました。夜 が明けてもなお、彼らの心には恐怖と希望が混在していました。ヤコブにとっては、 神へ信 しつつ、これから来たる き忍耐の年月の幕 けとなる新しい1日が始まったのです 。一方、井 の中には太 の光が差し み始めました。もしヨセフがあたりを 渡せたのなら 、井 へとキャラバンが近づいて来ているのが分かったでしょう。数分 、キャラバンの 男が冷たい水を期待し、井 の底へと桶を下ろしました。

Footnotes:

1 サヒ フ ブハ リ

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/1791

著作　2006-2015 断　を禁じます。　2006 - 2023　IslamReligion.com. 断　を禁じます。